平成27年度 第2回横浜市神奈川スポーツセンター指定管理者選定委員会　会議録	
日　　　時	平成27年8月6日（木）14時00分～17時00分
開催場所	神奈川区役所本館5階大会議室
出　席　者	柳澤委員、中村委員、宮嶋委員、依田委員　（計4名）
欠　席　者	加藤委員
開催形態	応募団体の面接審査は公開とするが、指定候補者及び次点候補者の選定審議については非公開とする。（傍聴者なし）
議　　　題	1　面接審査（2団体） 2　指定候補者選定審議
審議結果	1　面接審査（2団体） (1) BSC（バディースポーツクラブ）・SFS（スターツファシリティーサービス）共同事業体 (2) 公益財団法人 横浜市体育協会 2　指定候補者選定審議 横浜市神奈川スポーツセンター第3期指定管理者の候補者及び次点候補者を、次のとおり選定した。 (1) 指定候補者は、評点75.25点（合計点数301点）の「公益財団法人 横浜市体育協会」を選定した。 (2) 次点候補者は、評点61.50点（合計点数246点）の「BSC・SFS共同事業体」を選定した。
委員意見等	1　面接審査（2団体）（応募団体ごとの主な質疑応答） (1) BSC・SFS共同事業体 （委員）共同事業体ということだが、それぞれの事業体の事業内容について教えてほしい。 （団体）BSCは子どものスポーツ教育に強みをもっており、SFSは総合施設管理のノウハウを有している。 （委員）平成30年度の吊天井改修工事にともない、最長で6か月程度施設の閉館が予定されているが、提案書では利用人数の目標値が減少していない。理由を教えてほしい。 （団体）提案書には反映させていない。工事の時期が具体的に決まり次第、目標人数を設定し直す。 （委員）開館時間の延長を提案しているが、近隣の住民との話し合いが必要になってくると思うが、考えはあるのか。 （団体）これまでの経緯を確認し、近隣住民と十分に話しあっていきたい。 （委員）子どもを対象とした事業のノウハウは十分にあると思うが、中高年および高齢者向けの事業の展望についてきかせてほしい。 （団体）高齢者については、毎日短い運動を継続して実施することで、健康な

	体をつくっていくことが大事だと考えている。社員はみな保健体育の指導資格を有しているので、その知識を活かし、事業を展開していきたい。 （委員）開館時間の延長に伴い、人件費が増えることが想定されるが、予算書では圧縮されている。これはどこまで現実的な数字なのか。 （団体）開館時間延長の分の人件費は、時間外スタッフ賃金として、別の欄に記載している。提案の配置人数で対応できないような緊急時には、本社にサポートを依頼する。 (3) 公益財団法人 横浜市体育協会 （委員）第 2 期で利用者が 40,000 人増加したとのことだが、どのように増やしたのか。また、第 3 期で利用者を 18,000 人増加させるとのことだが、具体的にどう増やすのか。 （団体）第 2 期については、トレーニングルームをリニューアルするとともに、スポーツ教室の回数を増やしたことにより、利用者が増えた。第 3 期については、スポーツ教室の開催方法を工夫するなどして、利用者数を増やしていきたい。 （委員）新規のスポーツ教室はどのようなものを想定しているのか。 （団体）ジュニアのバレエ教室やトレーニング塾などを考えている。 （委員）事業について、イベント重視の傾向が見受けられる。総合型スポーツクラブの推進など、地道にやるべきことがあるのでは。 （団体）総合型スポーツクラブについては、活性化を図るため、連絡協議会を立ち上げた。また施設内にも区内の総合型スポーツクラブの紹介コーナーを設けている。引き続きクラブ間連携を図っていきたい。 （委員）今後、どの年代の利用者を増加させていきたいか。 （団体）すべての年齢層に対応しなければならないと考えている。 ２　指定候補者選定審議 （1）応募２団体の財務状況について、中村委員より説明。 （2）各委員より、評価が高かった点、課題とされた点などの講評があった。内容は選定結果報告書としてまとめる旨を委員に連絡した。
そ　の　他	本委員会における選定結果は、委員長から神奈川区長へ報告する。